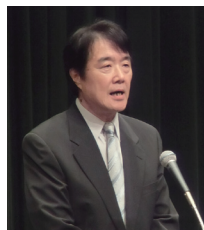


第10回(平成26年度)甲賀市企業人権啓発推進協議会記念総会 全議案(功労表彰含め)承認され終了



功労者代表謝辞
田代初代会長

去る4月25日(金)午後2時半より、忍の里プララ(甲南町)において、甲賀市企業人権啓発推進協議会の第10回(平成26年度)記念総会が開催され、多数の会員企業の参加を頂きました。

総会に先立ち、平成25年度人権標語の入選作品の表彰式が行われ、12名の方々に表彰状と副賞が贈られました。

続いて、会長のあいさつ、来賓祝辞と進み、議事に入る前に、当協議会は今年で10年目の節目を迎えるに当り、歴代の会長・事務局長・専門部長の13名と特別に功労のあった企業1社に感謝状と記念品の贈呈が行われました。そのあと議事に入り、次の5議案が原案通り満場一致で承認されました。

- 第1号議案 「平成25年度事業報告について」
- 第2号議案 「平成25年度収支決算について」
- 第3号議案 「平成26年度事業計画(案)について」
- 第4号議案 「平成26年度収支予算(案)について」
- 第5号議案 「平成26年度役員(案)承認について」

甲賀市企業人権啓発推進協議会

人権標語 入選作品発表

昨年12月に募集しました人権標語には101作品の応募をいただきました。その中から一次審査・二次審査を経て最優秀1点、優秀11点を決定いたしました。たくさんの方々の応募ありがとうございました。

最優秀作品 どんな綺麗な言葉より 実行できる 小さな勇気

障害者支援施設りこう園/村田とし子

優 秀

- *見てないフリで後悔するより 変る勇気で広がる未来 (株)日立建機ティエラ/今村 宏治
- *思いやり こつこつ重ねて 大きな絆 社会福祉法人 甲賀会/富山美智子
- *自分がされていやなこと しない・言わない・やらせない NECライティング(株)滋賀工場/大谷 憲夫
- *変ろうよ 見ているだけの 自分から (社福) あいの土山福祉会 エーデル土山/廣岡 隆之
- *さりげない 笑顔でもてなす 思いやり 甲賀協同ガス(株)/前田 泰博
- *認めよう、一人ひとりとは違うもの 西川ローズ(株)甲賀事業所/上山 清和
- *声かけて 差し出すその手が 思いやり NECライティング(株)滋賀工場/大林 憲司
- *話そうよ、スマホじゃなくて 顔を見て 甲賀バラス(株)/市井 善積
- *創ろうよ 誰もが等しく 笑うまち 社会福祉法人 甲賀会/井上 有子
- *あなたの思いやり、めぐりめぐって、あなたの元へ 滋賀設備(株)/辻 瑠美
- *考えて 軽い一言 その重さ NECライティング(株)滋賀工場/平居 信男 (敬称略)

特に、当協議会では、人権意識を高め、「人を大切にする」を柱に、あらゆる差別の無い社会を目指すために、今年度の事業計画を推進することを表明しました。

尚、当協議会設立10周年を記念し、先人の活動のあかしとして、今までに発刊された広報誌「共に生きる」の縮刷版を作成し、地道な歩みを振り返ると共に、今後一層の連携を深める中での参考として活用して頂けることを期待し、各会員企業に配布いたしました。

引き続き、記念総会終了後、午後4時より特別研修として、「人の世に熱と光を!」と題し、奈良県御所市にある西光寺住職の清原隆宣(リュウセン)さんに講演して頂きました。清原さんは、水平社宣言を起草された西光万吉(本名 清原一隆)さんの実弟の孫にあたり、人の世に熱と光を求めた西光万吉さんの思いを現代の社会にも伝えようと活動されておられます。

講演では、差別を生むまちがった「ものさし」を無くし、世間体という歴史性・社会性に束縛されることなく、人間は無条件で尊重すべきもの、認め合うべきものということ、やさしい口調でわかりやすく講演して頂き、改めて一人ひとりの意識変革の重要性を認識させられました。

講演中の西光寺 清原住職 (株)コーガアイソトープ 松山元彦 記

平成26年度 事業計画

1. 会 議
 - 総 会 4月 適時
 - 理事会・専門部会
2. 研修部
 - 総会特別研修 4月
 - 経営者トップ研修 7月
 - 人権フォーラム(甲賀市と合同) 9月
 - 役員対象フィールドワーク研修 10月
 - 会員企業従業員対象研修(甲賀市と合同) 12月
 - 会員対象フィールドワーク研修 2月
3. 啓発・広報部
 - 広報誌発行 2回/年 6月・12月
 - 会員企業向け啓発グッズ配布 7月
 - 人権パネル展 9月
 - 人権標語の募集 12月
 - 人権標語ステッカー配布 3月
 - ホームページの更新(充実) 都度
4. 雇用部
 - 就労困難者対象パソコン教室(5日間) 9月
 - 役員対象フィールドワーク研修(事業所見学) 11月
5. その他
 - 会員拡大に向けた取り組み 年間
 - 関係団体との連携 年間

平成25年度企人協会員企業従業員、甲賀市企業・事業所従業員対象人権研修会開催

平成25年12月17日(火)



今年度は、企人協/甲賀市共催で従業員対象人権研修会を忍の里プララで開催いたしました。

人権落語家「露の新治」さんを講師に、お笑い人権高座「自分の人生、自分が主役」と題して「笑⇄いいかお」で学ぶ今までとは異なった催しとなりました。

全ての子どもはかけがえの無い命「宝の子」とであると云う事に気づきもありました。

被差別部落…血筋、家柄と言うが? 宝の子は父と母から生まれるが10代遡ると1024人の関係者(血縁)となる。33代遡ると85億人の関係(単純計算)となる。地球全体の人口が65億人といわれる中で地球の人口より多い関係者と理論的にはなる。人と人の関係は輻輳し「自分の血筋も解らない状況になる」…だから謂れの無い差別と言う!

「差別とは←不当な分け隔て」「コンプレックス⇒自分差別」←被差別が続いている。「加差別」←が止められるかどうか大きな課題である。自己変革することが重要。等々を「学び」「気づき」「振り返り」を笑いの中から実感させられる研修会であった。

当日参加者は302名(280社)の参加をいただきました。

企人協従業員対象フィールドワーク研修

《水平社博物館》 平成26年2月14日(金)

2月14日(金)奈良県御所市は雪がはげしく降る悪天候ではありましたが、従業員対象フィールドワーク研修会を「水平社博物館」で実施いたしました。

人権問題(同和問題)の原点を尋ねて学習をしようと集まっていたいただいた参加者32名(事務局含む)が熱心にボランティアガイドの説明に聞き入りメモを取っての研修会で、往復の車中では「人権のヒント職場編」「人権のヒント地域編」(企人協新規購入人権DVDライブラリー)を上映研修も含めて研鑽いただきました。

当日は参加者・御所市・周辺の方々の協力・助け合いを頂く中での研修で「絆」を実感する場面にも遭遇するものでした。



7月は「なくそう就職差別 企業内公正採用・人権啓発推進月間」です